

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	新杉田公園
所在地	横浜市磯子区杉田 5-32
公園面積、公園種別	32.098 m ² 地区公園
主な施設	野球場、庭球場 4 面、芝生広場、ドッグラン
特徴	芝生広場、運動施設、ドッグランと多様な利用目的に対応している公園
公園開園日	1989 年(平成元年)10 月 1 日

公園名	岡村公園
所在地	横浜市磯子区岡村二丁目 17
公園面積、公園種別	68.139 m ² 地区公園
主な施設	野球場、庭球場 (6 面)、少年多目的広場、梅林、ケヤキ広場、遊び場 (2 カ所)
特徴	磯子風致地区の高台に位置する風光明媚な公園
公園開園日	1950 年 (昭和 25 年) 5 月 25 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜緑地株式会社
代表者名	代表取締役 瀧本 靖
所在地	横浜市磯子区杉田四丁目 5-10
指定管理期間	2019 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	2009 年 4 月 1 日 (新杉田) 2014 年 4 月 1 日 (岡村)

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針 (ビジョン)

- ・美しい景観の創出～花と緑があふれる地域へ～
 - ・価値ある暮らしの提供～安全安心な公園づくり～
 - ・地域コミュニティの輪～地域の人に長く愛される公園～
- 上記の3点を柱として「地域連携の輪をより強く、より広く、より長く」をビジョンに掲げ、新杉田公園・岡村公園の管理運営を行う。

2 本年度の基本的な管理運営方針 (ミッション)

- ・人々が集う「愛される公園づくり」
- ・いきいきと活動できる「スポーツ・健康づくりの場」
- ・安全・安心を公園から「防災・防犯活動の拠点」
- ・街の価値を創出「地域を知り、発信する公園」

3 運営業務の実施計画・取組

1.人々が集う「愛される公園づくり」

地域の人々と協働して多くの人から親しまれる公園づくりを行う。

- ・両公園共に、レストハウス周りや公園入口などの花壇を整備し、フォトスポット設置により、彩りある公園にしていく。これからも、花を充実させ季節の花で迎える公園づくりの継続。

2.いきいきと活動できる「スポーツ・健康づくりの場」

- ・地域の子どもから大人までが楽しみながらいきいきと活動できる管理運営を行う。
- ・幅広い年齢層に向けたイベントを企画する等、取り組みを行っていく。

3.安全・安心を公園から「防災・防犯活動の拠点」

近隣団体や消防署と連携して公園の防災機能を強化し、非常時の防災拠点としての役割を果たす。

- ・岡村公園では週末を中心に磯子警察署と連携した「アクティブ交番」出張が継続される。
- ・防災・減災イベント「防災スマイリングフェア」を地域・消防署・区役所との連携を強化することで、顔の見える関係の基盤をさらに強化していく。

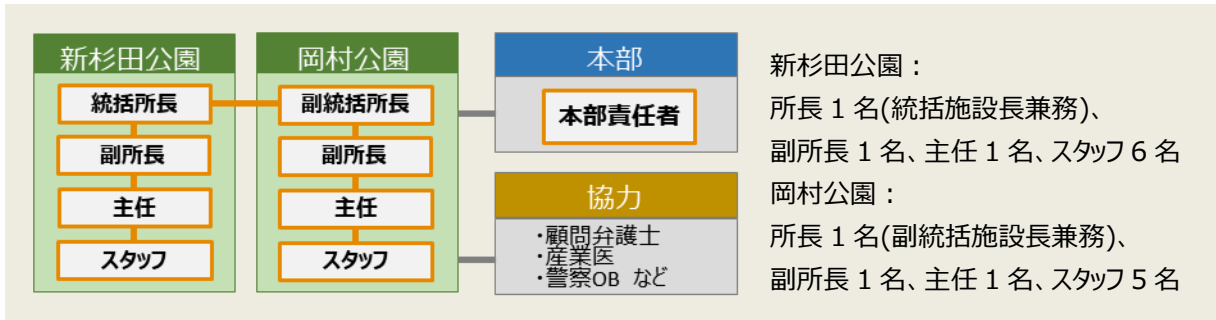
4.街の価値を創出「地域を知り、発信する公園」

地域資源を積極的に情報発信することで地域の魅力向上に繋げる。

- ・新杉田公園の「はち育」や「ドッグラン」を地域の活性化に繋げる。
- ・岡村公園は、地域と共に幅広い世代が交流できるイベントの展開。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制



項目			備考
施設長	各 1 名		統括責任者（新杉田公園所長兼務）
副施設長	各 1 名		統括副責任者（岡村公園所長兼務）
運営スタッフ	新杉田	7 名	運営管理、施設管理、維持管理 受付等全般
	岡村	6 名	

(2) 人員体制の考え方・職能等

・毎月 1 回は各公園において全員が出勤し、本部スタッフと全体ミーティングを実施し、本社会議等の情報や公園内の情報を全スタッフで共有する。

・公園所長には、スタッフを牽引するリーダーシップがあり公園の管理運営の実績がある人材を配置。また、本部による管理職研修、資格取得支援を行うなど、スタッフ育成の支援体制も整える。スタッフ全員が、公園全体を理解し、様々な業務に対応できるマルチスタッフとして効率的な体制を構築。

(3) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

1. 面談の実施
全スタッフがキャリアプラン(将来像)をイメージして業務を行えるようにするため、本部を交えたスタッフ面談を年 2 回行い、フィードバックしていく。

2. 研修の実施

- ・基本研修（年 2 回）公園管理業務従事者の心得、安全管理、個人情報保護、関係法令園芸知識教育、植物・施設管理の技術習得など
- ・安全衛生講習（月 1 回）安全衛生に関わる講習、情報共有、注意喚起
- ・情報共有ミーティング（年 2 回）企画・広報担当者のイベント企画・運営手法や広報のスキルアップなど

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

1. 市民サービス向上の取組

(1) 利用者ニーズ・満足度の把握

公園を管理運営していく上で利用者のニーズを調査・把握し、より良くしていくために何が必要か検証し、改善に取り組む。

(ア) 利用者視点：アンケートボックス、日々の意見収集、HP アクセス解析、SNS マーケティング

(イ) 管理者視点：本部による視察や安全衛生・品質監査

(ウ) 外部モニタリング：外部コンサルタントによるモニタリング、横浜市評価

2. 利便性向上の取組

(1) 有料施設の利用：有料施設の空き情報は HP や掲示板でタイムリーに発信。

(2) レストスペースの装飾：季節の装飾・花やウエルカムボードで利用者を迎える。

公園から日々のメッセージを発信することで利用者に親しみを感じてもらう。

(3) 情報発信：注意看板等の外国語対応

危険行為などは事故に繋がる恐れもあるため、外国語（英語、中国語、韓国語など）の表記を用いて情報発信。

3. 利用促進の取組

(1) 年間行事や季節に合わせたイベントの実施

両公園では好評な季節を感じられるイベントや地域連携の企画を実施。

その際には新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮。

(2) 公園の特徴を活かした取り組み

新杉田公園では、ドッグランがあるため、ドッグラン利用者向けイベントを展開し、新たな利用者層にドッグランを利用いただくきっかけに繋げていくと共に、ペットと飼い主の交流の場に繋げる。

また、環境学習のための養蜂「はち育」で採蜜体験や、ミツロウを使用したワークショップ、みつばちの生態についての講座等を公園内外で開催し、環境を考えるきっかけを地域に広める活動を引き続き行う。

岡村公園は、町内会と連携し、梅林で実施される「梅まつり」や「梅収穫体験」、「夏まつり」を共同で開催し、楽しみながら公園と梅林に親しみを持ってもらえるように取り組む。

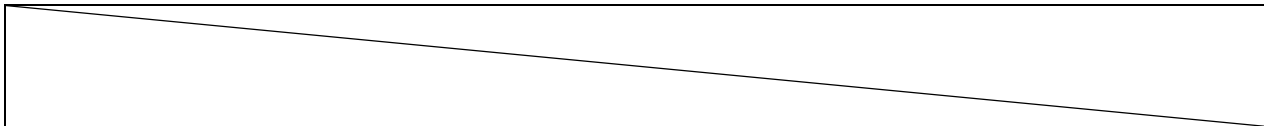
2 広報・プロモーションの取組

- ・ 広報担当者を決めて情報提供、発信、メディア対応等を行う。
 広報担当者は定期的なミーティングや広報研修にも参加。
- ・ ターゲットを定めた広報の取組（地域、広域）、年齢層別のメディア選定を行う。
- ・ 公園 HP での情報発信（お知らせ欄の活用、月 2 回以上のブログ更新によるファン作り）を行う。

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- 地域団体、教育機関、近隣住民、近隣公共施設などと協働の輪を広げ、地域の人々を、ビジョンを共有するパートナーと捉え、本公園が地域の交流拠点となるよう、市民協働の輪をひろげていく。
- 【地域団体との連携】**
- ・ 地域の祭りなどの参加、支援
 - ・ 地域と協働でつくるイベントの実施
- 【教育機関との連携】**
- ・ 近隣小学校や幼稚園・保育園との花壇づくり
 - ・ 新杉田公園では、学生（専門学校）との花壇の創出、実習体験。
 - ・ 新杉田公園では、公園管理業務の職業体験の場の提供。

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献



5 災害時の緊急対応

「指定管理者災害対応の手引き」に基づき、「安全対策マニュアル」の作成・更新及び研修を行うことで災害時などの損害を最小限にとどめ、業務の継続及び早期の応急・復旧に努める。緊急時（営業時間内）は安全対策マニュアルに則り、公園所長の指揮のもと状況を南部公園緑地事務所、本部、関係各所へ連絡。状況に応じて警察・消防及び関係各所に通報・連絡し、避難誘導などの安全確保を行う。緊急対応後は、最終報告をする。夜間・業務時間外は公園所長・副所長及び本部は、社用携帯電話を所持して常に連絡可能な状態を維持するとともに下記のとおり業務時間外の体制を整える。状況に応じて公園所長、本部人員に加え、公園近隣に居住するスタッフがいち早く参集し、緊急時の早期に対応を行う。

6 安全対策・防犯対策

ハザードマップをもとに危険箇所を共有し、日常の巡回時に確認を行う。植栽帯について見通しのよくなる植栽管理を行い、死角を作らないようにする。夜間防犯対策として建物施設に機械警備を導入。防犯上の危険が予想される時期や年末年始には、警備員により巡回警備を実施。関係機関との連携や地元警察への巡回強化依頼、「地域防犯連絡所」。磯子区防犯協会・磯子警察署生活安全課の「地域安全ニュース」を受信し地域情報を随時入手し、利用者への情報共有を公園掲示板で呼びかける。

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

苦情・要望は貴重な意見ととらえ、しっかりと話を聴き、その上で必要なルールや考え方をお伝えする。ルールの周知、職員間の情報共有、接遇研修等により公平公正な立場での対応を行う。本社によるサポート体制として全社研修や苦情要望のデータベース化、回答事例集を共有し統一した対応ができるようにする。不法行為対策は直接の声かけ、掲示、園内放送。悪質な場合は協議の上で警察や専門機関への相談を行う。

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

市内中小企業への優先発注。ガーデンネックレス横浜の推進、国際園芸博の機運醸成。
横浜 3R 夢プラン：落葉を活用したコンポストの設置、はまっこユークの活用・販売、ペットボトルキャップのリサイクルの取組。
高齢者外出支援として横浜市健康福祉局「濱ともカード」協賛。
Y-SDGs 企業として持続可能な公園管理運営を実施していく。

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

「横浜市個人情報の保護に関する条例」のほか、関連法令及び、「個人情報保護規定」、「個人情報保護マニュアル」を遵守。入社時、年1回の基本研修、定期的な個人情報保護に関する研修を継続実施していく。
「横浜市人権施策基本指針」に則り、月1回の公園全体会議、年2回の職員基本研修にてコンプライアンス研修を継続実施。障がいのある方には減免等のサービスのほか、公園所長が取得したサービス介助士資格のノウハウを公園スタッフにも共有し、どんな方にも使いやすい公園としていく。

(事業計画書様式4)

1 公園の維持管理の基本方針

各施設の立地状況や特性を把握し、快適性と安全性に配慮し、その機能を損なうことなく利用者に提供できるよう適切な維持管理を行う。各施設の維持管理は、「維持管理基本水準及び仕様書」、各種マニュアルに基づき、「巡視点検の基本方針」、「安全対策」、「修繕の取組」、「施設備品の維持管理方法」に則り実施。またエリアごとに想定されるマナーアップ活動及び、利用者指導については巡回時に随時行う。

2 公園施設・設備の維持管理

1.園地管理

(1) 美しい芝生の維持

芝生は低めの芝刈りを行い、石やゴミなどを除去して安全で美しい広場を維持する。芝生広場や野球場は、春～夏期週1回ほどの間隔で草刈を行い美観を維持。

(2) 防犯に配慮した維持管理

利用者の多い主要な園路をはじめ、園地の外周路、人気のない場所、死角となる場所の見通しを確保して防犯に配慮した管理を行う。高木は下枝を剪定して視認性を高める。特に低木は、現状で樹高が高いため、見通しを確保する。

2.施設管理

(1) 野球場・庭球場（共通）

毎朝の利用前の整備と月1回の定期整備

(2) 少年野球場（岡村公園）

砂埃対策の散水、水たまり対策、周囲の側溝清掃

(3) 園路・エントランス（共通）

ゴミや落ち葉清掃、支障枝剪定、エントランス花壇管理

(4) 遊び場（共通）

毎日の巡視、遊具通常点検、専門業者点検

(5) 自家用電気工作物、消防設備、給排水設備（共通）

専門業者による定期的な法定点検

(6) ドッグラン（新杉田公園）

犬が掘り起こした穴の埋め戻し、糞の除去。

定期的に芝刈り、異物の除去・確認作業を実施。

(7) レストハウス（共通）

毎日の清掃、季節の装飾、清潔感の維持

(8) 梅林（岡村）

計画的な樹勢回復、日照確保のための周辺樹木の剪定。

3 公園施設・設備の修繕計画

- ・日々の巡回巡視での不具合箇所の早期発見を心掛け、市との協議が必要なものについては直ちに
対応する。
- ・安全面を考慮した修繕を行う。

4 樹木・植栽等の管理

- ・レストハウス前メイン花壇の整備。(両公園)
- ・立体花壇やプランター配置による見応えのある景観づくり。(両公園)
- ・高木化が進んでいる樹木の管理(岡村公園)
- ・安全確保と樹木保護のための剪定及び整備(両公園)

5 巡視・清掃

(1)巡視

- ・日常巡視・点検は1日2回実施。定期的に園内を巡視し、異常や危険を発見した際は、報告の
うえで立入禁止措置を取り、利用者の安全に配慮し改善する。また、常時ゴミ袋を携帯し回収。
巡視状況はチェックシートに記入し、スタッフ間で共有する。
- ・臨時巡視は大雨・台風時や警報発令時に実施し、ハザードマップを活用して危険箇所をチェック
する。

(2)清掃

- ・日常清掃として毎朝レストハウス、トイレ・更衣室、園内の清掃を行う。
- ・トイレ清掃は、清掃チェックシートを掲示し清潔に保つ。
- ・トイレは、常に快適に利用できるよう、花の一輪挿しや壁飾りなど、季節感を持たせた
演出を行う。
- ・重点清掃として月1回の高圧洗浄機による清掃を行い、清潔な環境を維持。

新杉田・岡村公園 令和5年度 事業計画書

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧 (自主事業含む)

事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施時期	回数
公園バースデー (両公園)	利用者と公園の誕生日を祝い、掲示や苗木配布を行う		5.10月	各1
教育機関 花壇づくり (両公園)	植物に親しんでもらうために花苗・球根の植え付けを一緒に行う		該当団体と協議	2
スマイリングフェア (両公園)	防災イベント。地域町内会と連携し、防災知識を高めるAED体験・消火訓練。公園職員の避難訓練を実施		3月	1
子ども向けイベント (両公園)	季節の行事合わせた子どもイベント (お絵かき・凧あげなど各20名)		5.6.1月	3
地域連携事業 (岡村公園)	町内会と連携した歌自慢イベント (15組)		10月	1
地域連携事業 (新杉田公園)	近隣5つの公共施設が連携した企画「すぎたから♡つな5」イベントに参加。ワークショップ開催予定。		10月	1
地域連携自主事業 (岡村公園)	梅林を活用した梅収穫祭 (6月)、梅まつり (2月)		6.2月	2
はち育 (新杉田公園)	みつばちの飼育、はちみつやみつろうを使用したワークショップを通じた環境教育プログラム		通年	
レストハウス装飾 (両公園)	季節に合わせたレストハウスの装飾や市民ギャラリーとしての活用		通年	
イルミネーション (両公園)	レストハウスや花壇など季節に合わせたイルミネーション		通年	
ウォーキング教室 (岡村公園)	公園内を歩きながら健康増進を図るプログラム (滝頭ケアプラザ連携)		10.3月	2

提案事業実施計画一覧 (有料自主事業含む)

事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施時期	回数	自主事業予算額	
					総経費	収入
自転車初乗り教室 (新杉田公園)	こどもカレッジ連携事業 (パパカンパニー共催) 各定員20名		通年	12	1,596千円	1,680千円
植物イベント (両公園)	寄植えワークショップ。各定員15名。		春・秋	2	40千円	60千円
ミニ門松作り (両公園)	公園開催講座 15名 2,200円 (地域ケアプラザ連携) 20名 2,500円		12月	2	18千円	80千円

新杉田・岡村公園 令和5年度 事業計画書

テニス教室 (両公園)	レベルに合わせたテニス教室 (エフエージェンシー連携) ※指定管理者収入は事務手数料のみ		通年	—	15 千円	500 千円
野球場冬季開場 (新杉田公園)	冬季整備中の早期開場		3 月		—	117 千円
テニスダブルス 大会 (両公園)	一人でも参加できるダブルス大会 (エフエージェンシー連携) ※指定管理者収入は事務手数料のみ		随時	12	103 千円	114 千円
こども野球教室 (両公園)	野球初心者にも分かりやすい教室 (デポルターレ連携) ※指定管理者収入は事務手数料のみ		通年	—	—	26 千円
ヨガ教室 (岡村公園)	パークヨガ 500 円 15 名		通年	10	60 千円	75 千円
ドッグラン (新杉田公園)	新規登録料・更新料 (6 か月) 各 1,000 円		通年	—	100 千円	500 千円
早 朝 野 球 (両公園)	野球場の早朝使用 (各連盟の試合など)		通年		—	120 千円

(事業計画書様式 6)

業務の第三者委託一覧

業務	内容	委託会社	年回数	実施月	備考
自家用電気工作物の 保安管理業務	電気整備の保守点検	日動電設株式会 社	年次 1 月 1	毎月	
遊具点検業務	遊具点検	令和植木	1 回	9 月	
公園アンケート集 計業務	公園アンケート原表 作成及び調査結果の 整理分析	株式会社地域環 境計画	1 回	通年	
年末年始警備業務	年末年始警備	株式会社五月警 備	1 回	12 月～ 1 月	
受水槽清掃業務 (新杉田公園)	給水施設清掃	三ツ矢設備工業 株式会社	1 回	7or8 月	
簡易専用水道検査 業務(新杉田公園)	簡易専用水道検査	よこはま環境セ ンター株式会社	1 回	9 月	
夜間警備	夜間機械警備	京浜警備保障株 式会社	通年	通年	

新杉田・岡村公園 令和5年度 事業計画書

グラウンド冬季整備	野球場冬季整備	谷野緑化 アサヒスポーツ	1回	1月	
植物管理業務	伐採、除草等	ウザワランドスケープ株式会社	2~5回	随時	

(事業計画書様式7)

収支予算書 (指定管理事業のみ)

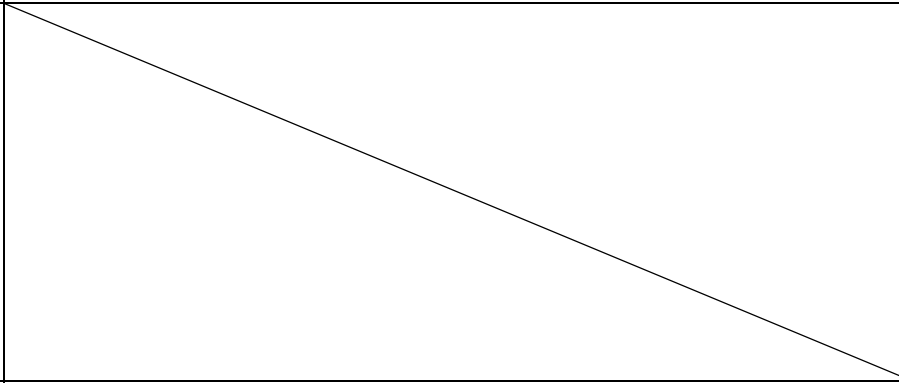
(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	53,640,562					
利用料金収入	29,179,000					
自主事業収入	3,272,000					
雑入	0					
収入合計(a)	86,091,562	0	86,091,562	0	86,091,562	
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	49,000,000					
給与・賃金	42,000,000					
社会保険料	3,000,000					
通勤手当	1,000,000					
厚生福利費	3,000,000					
勤労者福祉共済掛金	0					
退職給付引当金繰入額	0					
事務費	6,927,000					
旅費	200,000					
消耗品費	2,000,000					
会議賄い費	0					
印刷製本費	0					
通信運搬費	0					
使用料及び賃借料	0					
備品購入費	1,500,000					
保険料	270,000					
振込手数料	0					
リース料	2,007,000					
手数料	150,000					
その他事務費	800,000					
自主事業費	2,000,000					
管理費	57,927,000					
光熱水費合計	8,505,000					
電気	7,183,000					
ガス	132,000					
水道	1,190,000					
下水道	0					
清掃費	0					
修繕費	2,200,000					
機械警備費	500,000					
施設保全費	8,200,000					
施設(建物)・設備保守	2,200,000					
園地管理費	6,000,000					
公租公課	0					
事業所税	0					
消費税	0					
その他公租公課	0					
事務経費(本部分)	11,000,000					
雑費	0					
支出合計	88,332,000					
差引	-2,240,438					
(参考) 指定管理料以外の経費						
設置管理許可収入合計	27,000,000					
設置管理許可支出合計	24,000,000					
差引	3,000,000					

(事業計画書様式8)

運営目標

項目	取組み内容及び具体的な数値目標
<p>業務運営1 (様式2：運営業務の実施計画・取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花苗や球根、タネを使用しフォトスポットなる花壇づくりの実施 ・温暖化対策としてグリーンカーテンの設置 ・磯子区の温暖化対策協力(ミスト、グリーンカーテン) ・地域や幼稚園、小中学校との連携事業の継続 ・部モニタリング利用者満足度4(5段階評価)以上を取得
<p>業務運営2 (様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新杉田公園では所長、副所長、スタッフ計9名配置。 岡村公園では所長、副所長、スタッフ計8名配置。 ・所長及び本部の緊急時対応者に社用携帯の配備 ・避難訓練の実施(1回以上/年) ・全スタッフの管理運営知識・技術の向上及び人材育成方針・研修計画に基づき基本研修を実施 2回/年 ・コンプライアンス研修 12回/年 ・安全衛生講習 12回/年
<p>業務運営3 (様式3：利用者サービスの向上・利用促進策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙年間200枚以上収集し、内容を開示。 ・ウェルカムボード更新(月2回) ・レストスペースの装飾(年4回)
<p>業務運営4 (様式3：広報・プロモーションの取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新杉田公園では、公園の広報誌(公園だより)年4回以上発行。 ・広報担当者を決めて情報提供、発信、メディア対応等を行う。 広報担当者は定期的なミーティングや広報研修にも参加。 ・ターゲットを定めた広報の取組(地域、広域)、年齢層別のメディアを選定する。 ・公園HPでの情報発信(お知らせ欄の活用、月2回以上のブログ更新によるファン作り)を行う。

<p>業務運営5 （様式3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小学校や幼稚園・保育園との花壇植え付け（両公園 年2回） ・自治会との連携事業の実施（両公園 年1～2回） ・ボランティア清掃活動（岡村公園 月1回） ・専門学校の実習（新杉田公園 年4回） ・はち育講座（新杉田公園 年2回） ・両公園では、地域や町内会とのイベント開催。 ・両公園では、地域連携の防災イベント開催。
<p>業務運営6 （様式3：地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献）</p>	
<p>業務運営7 （様式3：本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への優先発注 ・ガーデンネックレス推進、花博の機運醸成は掲示や関連イベントの実施。 ・横浜 3R 夢プラン：落葉を活用したコンポストの設置、はまっこユーキの活用・販売、ペットボトルキャップのリサイクルの取組。 ・高齢者外出支援として横浜市健康福祉局「濱ともカード」協賛。
<p>業務運営8 （様式4：公園の魅力を高める施設保全・管理）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レストハウスをギャラリーとして活用。 ・利用者安全確保のベンチなどの適時修繕 ・死角となる見通しを確保するための低木の刈込（2回/年）
<p>業務運営9 （様式4：施設（建物等）、設備の維持管理、修繕計画）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給水・排水施設点検（4回/年） ・側溝・U字溝・柵（3回/年） ・遊具・工作物の日常点検（3回以上/年） ・遊具の法定点検（1回/年）

<p>業務運営 10 （様式 4：樹木、植栽等の管理）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高木剪定（2 回/年） ・ 低木刈込（2 回/年） ・ 法面草刈り（2 回/年）
<p>業務運営 11 （様式 4：巡視・清掃）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常巡視（朝、昼、夕） 3 回 ・ 日常清掃・トイレ清掃（1 日 1 回以上）
<p>収支 （様式 7：収入確保、経費節減策）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動式機械工具に更新して燃料を削減。 ・ 野球場に自動芝刈り機を導入して、作業効率アップと乗用機械の燃料を削減。 ・ 花苗の一括購入